

お客さまへ
ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに 結びつく可能性があるもの			
 禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電・落下の原因)	 禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)
	器具やランプを布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)		

 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または 家屋・家財などの損害に結びつくもの			
 禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。(火災・感電の原因)	 厳守	ランプは落としたり、(物を)ぶつけたり、無理な力を加えない。(ランプが破損してけがの原因)
	ランプに塗料などを塗らない。 (ランプが過熱・破損してけがの原因)		スイッチを強く引いたり、はじいたり、斜めに引かない。(破損して落下の原因)
	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。 (過熱して火災の原因)		明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。

点 検	
■ 6ヵ月～1年に1回、機能(非常点灯持続時間と切替動作)の点検を行う。[建築基準法施行規則第6条]	■ 48時間以上充電後、非常点灯持続時間30分以下となったら蓄電池を交換する。

ランプ・蓄電池の交換・器具の清掃

⚠警告 点検後、ランプが消灯し十分に冷えてから行う。(感電の原因)

点検フローチャート

ランプ交換
1、ランプを垂直に引きソケットからはずす。
2、ランプのピンをソケットに差し込み確実に装着する。

⚠注意
○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない。
(高温のためやけどの原因)
○ランプはソケットに確実に付ける。(落下の原因)
○使用済みランプは不用意に割らない。(けがの原因)
○交換ランプは直接素手で触れない。(破損・短寿命の原因)

蓄電池交換
電池をささえながら電池保持バネを外側へ押し出し、リボンを引き電池をはずす。
○蓄電池の交換は必ず当社指定の純正部品を使用してください。

⚠警告
蓄電池はショート・分解・加熱・変形させない。
また、火中に入れない。(やけどや衣類損傷の原因)


Ni-MH

器具形名	適合ランプ 適合蓄電池	この製品には、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニッケル水素電池の交換及び、ご使用済み製品の廃却に際しては、ニッケル水素電池を取り出し、回収拠点へお持ち込みください。 詳細は弊社カタログをご覧ください。
LDB11011	ハロゲンランプ JE3. 6V9W 蓄電池 3H30JA	
LDB21011	ハロゲンランプ JE3. 6V13W 蓄電池 3H30JA	
LDB31011 LDB31012 LDB31013 LDB31014	ハロゲンランプ JE8. 4V30W 蓄電池 8H30JA	

清 掃 柔らかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。

照明器具の寿命について	
●照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検交換をおすすめします。	●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。 ●3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。 ●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証について	■保証期間は商品お買い上げ日より1年間です。ランプ、電池などの消耗品は対象外です。 詳細は弊社カタログをご参照ください。
---------------	---

異常時の処置	煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなどの異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。 (火災・感電の原因) 煙が出なくなるのを確認し、工事店または下記連絡先にご相談ください。
---------------	--

 **三菱電機株式会社**
連絡先  **三菱電機照明株式会社**

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎ (0467) 41-2729 (営業本部)
☎ (0467) 41-2773 (品質保証部サービス課)

MITSUBISHI

三菱非常用照明器具 (蓄電池内蔵形)

埋込形

形名	LDB11011 (公共施設：K1-IRS4-JE9) LDB21011 (公共施設：K1-IRS4-JE13) LDB31013	LDB31011 (公共施設：K1-IRS4-JE30) LDB31012 LDB31014
----	---	---

取扱説明書

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

 絶対に行わないでください。	 必ず指示に従い行ってください。
--	--

⚠警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの			
 禁止	引火する危険のある雰囲気を使わない。(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない。)(火災の原因)	 禁止	器具取付けの際は電線を挟まない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)
	電源線を器具の外郭に直接触れさせない。 (過熱して火災の原因)		配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。 (絶縁破壊により感電・火災の原因)
		 厳守	施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従って行う。

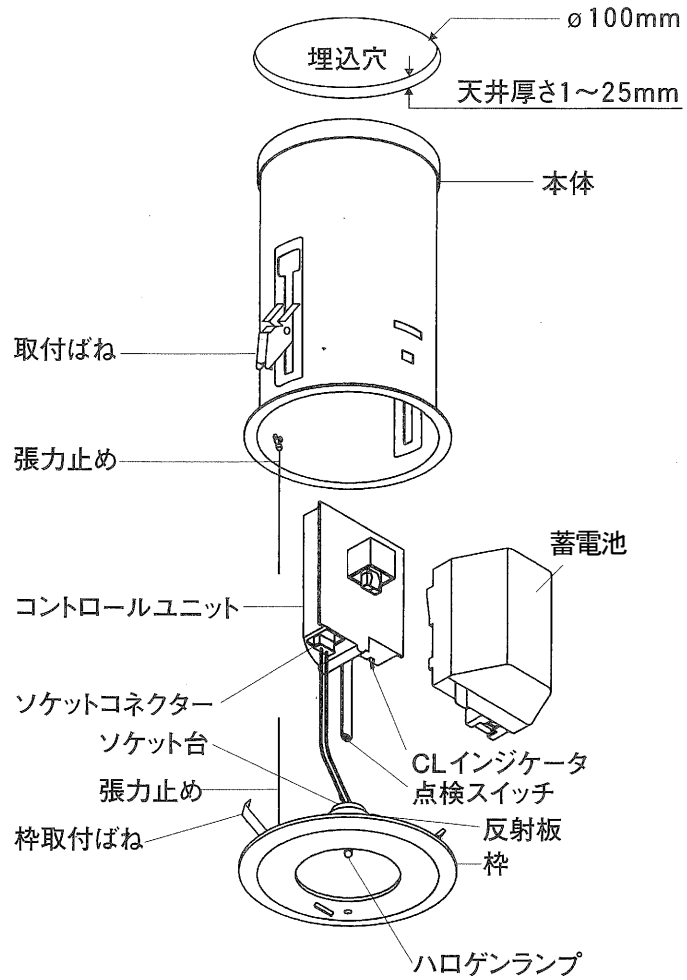
⚠注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの 蓄電池を通電せずに電池コネクタを接続したままで放置しない。(蓄電池の寿命低下、漏液の原因)			
 禁止	高温(35℃を超える)、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。(落下・感電・火災の原因)	 禁止	器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。 (絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)
	さびの出やすい場所、腐食性ガスが出る場所で使わない。(劣化による落下の原因)		表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電圧の90%以下の電圧使用は、安定器の短寿命、故障となります(火災・感電の原因)
	器具を外郭が天井内の造営材・ダクトにふれない。(火災・感電の原因)		風呂場など水や湿気の多い場所および雨水のかかる場所で使わない。 (水気・湿気が入り火災・感電の原因)

お 願 い	
■ 器具の周辺温度が5～35℃の範囲で使用してください。 ■ 直射日光や、空調機器等の排気口・温風吹出口付近の取付けは避けてください。 (蓄電池の寿命が低下することがあります。)	■ 天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな所に取付けてください。(すき間が発生することがあります。)
■ 内蔵蓄電池は、ご使用前に48時間以上充電してください。	■ 商品監視システム(防犯センサー)の一部の機器はインバータの周波数と干渉して誤動作する場合がありますので事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。

器具形名	ランプ	蓄電池	定格 常時	定格電圧	入力電流	入力電力
LDB11011	非常灯専用 ハロゲンランプ JE3. 6V9W	3H30JA (3. 6V3. 0Ah)	非常時	密閉形 Ni - MH 蓄電池 3. 6V3. 0Ah		
			常時	AC100V	0. 025A	2. 2W
LDB21011	非常灯専用 ハロゲンランプ JE3. 6V13W		非常時	密閉形 Ni - MH 蓄電池 3. 6V3. 0Ah		
			常時	AC100V	0. 03A	2. 0W
LDB31011 LDB31012 LDB31013 LDB31014	非常灯専用 ハロゲンランプ JE8. 4V30W	8H30JA (8. 4V3. 0Ah)	非常時	密閉形 Ni - MH 蓄電池 8. 4V3. 0Ah		
			常時	AC100V	0. 03A	2. 1W

各部のなまえと取り付けかた

⚠ 警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う。(不確実な取付けは器具落下・感電・火災の原因)



1 取付前の確認

○器具重量に十分耐えるよう取付部の強度を確保する。
⚠ 警告 器具の取付けは重量に耐えるところに取付ける。(落下の原因)

2 天井に埋込穴をあける。

(1) 埋込穴を上図のように用意する。
⚠ 警告 断熱施工天井に取付けない。(火災の原因)

断熱材・防音材をご使用の場合は、次の取付条件をお守りください。

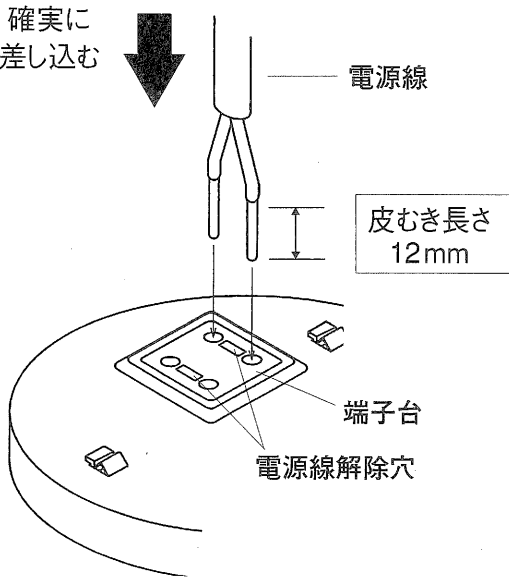
電気配線は断熱材・防音材の上側に来るようにしてください。
器具から断熱材・防音材までの距離を10cm以上離してください。

断熱材・防音材の上部は最低10cmの空間が必要です。

断熱材・防音材で器具本体の換気口をふさがないでください。

3 電源線を電源端子台に接続する。

(1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
⚠ 警告 接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因。
○電源端子台の送り容量は15Aです。
○適合電線: ϕ 1.6 単線 ϕ 2.0 単線
⚠ 警告 送り配線は照明器具専用とし、負荷容量を確認して接続する。(負荷容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)
⚠ 警告 電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む。(差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)

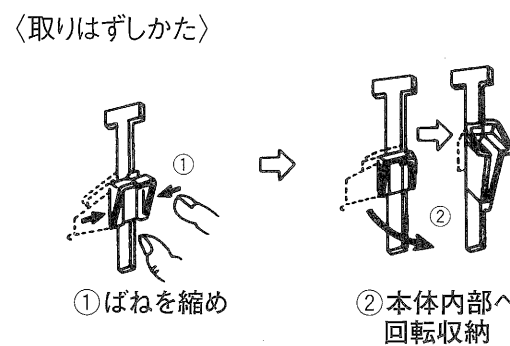
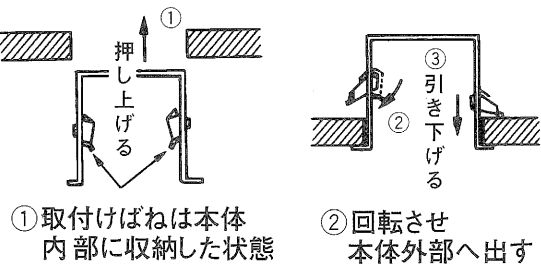


専用回路 AC100V
非常灯
常時充電状態となるように給電する。
⚠ 警告 分電盤と電源端子台の間には電源スイッチを設けない。

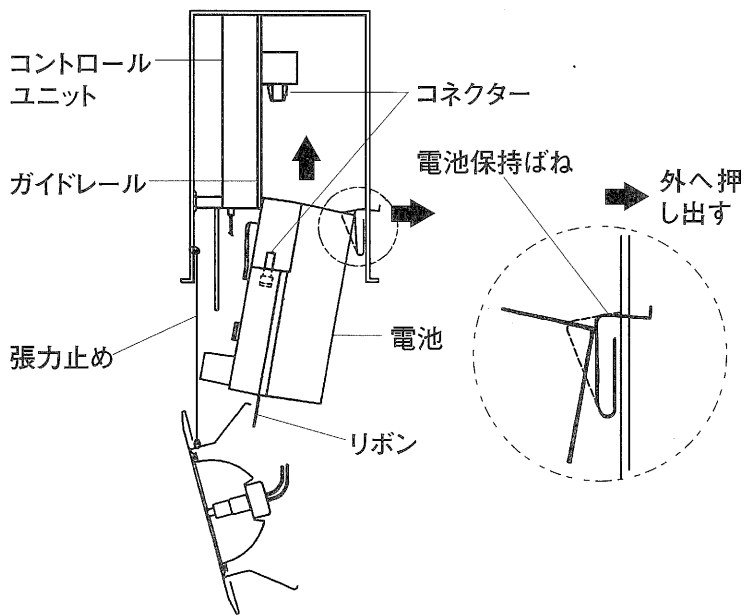
○電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、電源線解除穴にまっすぐに差し込んでください。

4 本体を埋込穴に取付ける。

(1) 本体を埋込穴に押し上げ、取付けばねを回転させ引き下げる。
⚠ 警告 取付けが不完全な場合落下の原因
●充電器は器具に収納した状態で作業できます。又、枠は反射板、ソケットランプが一体になっています。張力止めでたれ下げた状態で作業します。



(2) 電池は電池保持ばねを外へ押しながらコントロールユニットの両側にあるガイドレールに沿って押し上げて確実に電池保持ばねに載せる。



⚠ 警告 取付けが不完全な場合落下の原因

(3) 枠は、枠取付けばねを内側へ押しながら、点検スイッチと穴を合わせて押し上げる。